



# とっとり SDGs 企業認証 認証事業者申請内容



事業者名

株式会社カンダ技工

所在地

鳥取県米子市河崎 1008-1

代表者

代表取締役社長 中山 哉

業種

製造業

事業概要

機械設計から始まり、食品機械の設計製作と食品加工残渣の「もったいない」を契機に 21 世紀は、今迄廃棄していたマイナスの部分プラスに転換する時代だと位置づけ、未利用資源開発事業部を設け未利用資源を活かした健康食品・製菓原料や化粧品原料の開発製造及び粉碎殺菌を行い、自社の健康食品工場・化粧品工場及び菓子工場での利用を推進しています。他素材の受託加工とフリーズドライ工場の増設で、外注加工製品の内製化と高付加価値製品の製造を開始。現在、特に研究開発している鳥取県産食品向け竹炭の研究で竹炭服用での効果を注視しており商品開発を進めております。

本社工場（機械事業部）：各種食品機械・省力化機器設計製作）

境港工場：竹内工場（抽出、粉碎殺菌工場・気流殺菌工場・フリーズドライ工場）

抽出・濃縮・殺菌（液体、紛体）・粉碎・粉化・分析  
西工場

研究開発・抽出・濃縮・フィルターろ過・限外ろ過・脱塩等

松江八雲工場(化粧品事業部)：各種理美容化粧品開発・化粧品受託加工

熊野工場（八雲ことぶきフーズ）：カップゼリー・パウチゼリー

## <2030年に目指す姿>

弊社の創業理由は、「潰れない会社、潰さない会社作る」という思いからの始まりです。

創業者は学校卒業後、夢と希望を持って業界大手の会社に就職しましたが1年足らずで倒産し、米子に帰り地元の手前の会社に直ぐ就職し、将来の設計も立てられた頃に会社が倒産、という2回連続の倒産を経験しました。次も倒産するのではないかと会社不信が拭えず何でも良いから始めてみようという創業の道を選び、「会社は家族」との考え方のもと日夜仕事に邁進してまいりました。

食品会社の機械設備を製作する中、食品加工工場で毎日大量に出る廃棄物（野菜や魚などの製品に使えない部分のいわゆる「ゴミ」）に着目し、何とか再利用できないかと立ち上げたのが未利用資源開発事業部です。地球上にある全てのモノはその存在理由があり私たち人間はそれらが無限に有るかのように利用し廃棄し自然環境も崩れ出しています。自然の恵みは循環させてこそ生活が維持されます。安易に何でも捨ててきたツケは必ずいつか自分たちに返ってくるはず。地球資源に感謝して、使うなら100%有効に無駄なく使うことは地球人の責務と考え推進していきます。

またこの廃棄物の有効活用がテーマである未利用資源開発を行う上では多くの電力を消費することから、今後は現在設置しているソーラーパネルに加え、自家消費型のソーラーパネル発電設備設置と排熱及び蒸気ドレン利用、そして今後は雨水の有効利用や排熱と冷却水の温度差を利用し小型のスターリングエンジン発電を設置し全体のCO<sub>2</sub>排出量の10～20%削減を図ると共にカーボンオフセットを50トン/年継続購入などを行ってまいります。また各工場から2名ずつ選出したSDGsプロジェクトメンバーを中心とした活動を開始し、目標・取組み・経過発表会等6回/年を実施し、全員参加の和を拓けます。

そして会社は、そこで働いていただいている人を守り、育て、暮らしの充実に努め、皆と一緒に成長すること、絶対に倒産はさせないという強い意志が事業の可能性を拓ける原動力となります。自らがSDGsの目標達成のためにやることは会社を持続させることで、そこから拓がる輪が自国また輸出から生まれる輪となりまた拓がっていく姿を想います。

そのためには自社の働き方改革推進を更に推進していく必要があります。

年間休日を増やす、女性管理職の登用、定年年齢の引き上げ、男性育休の取得推進、残業時間削減の為一部拠点で2交代制を導入、従業員全員参加の知的資産経営で個々と会社の目標達成を図り、働きやすく、やりがいのある会社を目指しています。

## <目指す姿の実現に向けた重点的な取組>

社会5：多様な人材の活躍

経済9：雇用の維持・拡大

環境3：【気候変動③】自社の事業活動が引き起こす影響

### <重点的な取組推進時のインパクト（正の影響、負の影響）の分析・考察>

#### 社会5 多様な人材の活躍

高齢者にも活躍いただく為に、定年年齢を60歳から70歳に引き上げ高齢者雇用継続を実施し地域社会の活性化貢献を目指しているが、負の影響としては加齢による体力低下などの影響から業務効率低下、作業環境を整えるための費用増加による収益性低下が考えられます。

#### 環境3 自社の事業活動が引き起こす影響

水産・農産・林産の残渣や廃棄物から食品・健康食品及び化粧品原料を開発・製造し未利用資源の有効活用を目指し取り組んでいるが、負の影響としてはその製造の為に多くの電力量を使用すること、また排出される温室効果ガスの量が増えることで地球温暖化に繋がります。その対策としてソーラーパネルの増設、Jクレジットの増量購入、蒸気エネルギーの有効利用と熱回収、雨水の活用等で環境への負担を軽減します。

#### 経済9 雇用の維持・拡大

会社の成長・発展に向けた設備投資、M&Aでの事業拡大を行い、雇用の維持・拡大を図ります。

負の影響としては、設備投資を行うことで借入れが増え財務内容が悪化する恐れがあり、M&Aでの事業拡大においては従業員同士のトラブルも懸念されます。

## 社会(1/2) : 株式会社カンダ技工

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
<b>労働災害の防止</b>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全衛生・労災防止ポスター掲示</li> <li>・労基署の安全衛生教育研修への参加</li> <li>・従業員の過重労働を防ぐ為、IC カード勤怠システムで勤務時間・残業時間を一元管理・チェック</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>労働災害件数2年連続 0 件 令和 6 年 以降も継続</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全当番制度 職場の安全パトロール員や安全ミーティングの進行役を当番制で全従業員に担当させ安全意識強化</li> <li>・ヒヤリハット事例をミーティングで共有。</li> <li>・メンタルヘルス不調者早期発見の為、全従業員にストレスチェック実施</li> </ul>
<b>ハラスメントの防止</b>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメント防止に関する規定を策定</li> <li>・ハラスメント相談窓口・相談体制整備</li> <li>・上記をメール全体配信・社内掲示により周知共有</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>ハラスメント件数2年連続 0 件 令和 6 年 以降も継続</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメント防止に向けた社内での勉強会実施</li> <li>・相談員による定期個別面談実施</li> <li>・掲示しているハラスメント防止ポスターの内容を定期的に変更し注意喚起</li> <li>・社内匿名アンケートの実施</li> </ul>
<b>女性の活躍</b>	<p>&lt;KPI&gt;</p> <p>全従業員に対する女性の割合 48% (令和 4 年 4 月時点)</p> <p>全管理職に対する女性管理職の割合 0% (令和 4 年 4 月時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画推進企業の認定</li> <li>・イクボス・ファミボス宣言</li> <li>・女性専門職(開発)を初採用</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>&lt;KPI&gt;</p> <p>全従業員に対する女性の割合 50% (令和 6 年 4 月 時点)</p> <p>全管理職に対する女性管理職の割合 20% (令和 6 年 4 月 時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輝く女性活躍パワーアップ企業認定取得</li> <li>・女性社員の管理職の育成・登用</li> </ul>
<b>障がい者が働きやすい職場づくり</b>	<p>&lt;KPI&gt;</p> <p>障がい者雇用者数 0 人 (令和 4 年 4 月時点) (※雇用率 0% 令和 4 年 4 月時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立養護学校と連携 就労支援担当者の職場環境見学実施</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>&lt;KPI&gt;</p> <p>障がい者雇用者数 1 人 (令和 6 年 時点) (※雇用率 2.3% 令和 6 年時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者向けの業務の精査</li> <li>・職場環境の整備</li> </ul>
<b>多様な人材の活躍</b>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同一労働同一賃金の考え方にに基づき、公募(パート含む全従業員対象)で改善提案表彰制度を実施。</li> <li>・パート 3 名を正社員登用。</li> <li>・令和 3 年 9 月 定年を 60 歳から 70 歳へ引上げ、高齢者の雇用を継続</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>令和 5 年 60 歳以上の高齢者雇用 10%以上 令和 7 年 若年層の雇用 専門職を新卒採用</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の働きやすい環境整備</li> <li>・高齢者の働きやすい柔軟な勤務体制づくり(勤務時間の短縮や通院による中抜け等)</li> <li>・理系学生がいる高専や大学へのアプローチと情報収集</li> </ul>
<b>多様な働き方の促進</b>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 3 年度 育児休業制度利用 2 名。 令和 4 年度 育児休業制度利用 1 名。</li> <li>・令和 3 年 9 月 配偶者出産休暇の策定</li> <li>・令和 4 年 5 月 半日有給休暇の導入</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>令和 5 年 事務系業務を在宅勤務可能にする。 男性育児休暇・配偶者出産休暇実績を作る。 令和 6 年 有給休暇の取得率 70%達成</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リモートワーク導入通信環境・ルール整備。</li> <li>・配偶者出産休暇と育児休業制度の男性利用促進、有給休暇取得促進に向け、属人化業務をマニュアル整備・標準化し、メリット・必要性・他社事例を社内でも共有する事で取得しやすい社内環境を作る。</li> </ul>

## 社会(2/2) : 株式会社カンダ技工

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
労働者への 人権配慮	<p>【主な取組】</p> <p>採用活動を行なう際は性別や年齢の条件を外して、全ての応募希望者を受け、面接時は応募者の人権を尊重し、人権侵害になるような質問をしないよう各拠点の管理者へ指導。事前に質問事項を確認。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>人権侵害等に関する苦情件数0件 令和5年以降も継続</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>人権ポリシーを作成・公開 令和5年 人権侵害に配慮した取引先の選定を行う。 従業員の意識啓発の為、外部研修参加。</p>
社会配慮型 商品・サービスの提供	<p>【主な取組】</p> <p>竹炭を活用した食品・健康食品 竹炭の食品適応規格の設定 竹炭コーヒーの商品開発</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>・竹炭の機能性健康食品・和洋菓子製品販売と機能性評価安定性の確認で特許出願する。 ・鳥取県産食用竹炭の国内シェアは50～60%であるが、販売増加で生産ヶ所・製造設備を増やし、シェア70%にする。 ・弊社は、食用竹炭の製造企業として、竹炭生産者が、安定した生活設計が出来る生産企業に育て、雇用の創出に繋げる。 令和7年</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>利用者(消費者)への配慮として商品の安全性を示すと共に機能性を理解していただく為、大学との共同研究を行い竹炭の機能性評価を行う。共同研究の結果に基づき科学的根拠のもとに製品化を進める。食用竹炭の商品開発 ・製造装置の研究開発と安定した品質の食用竹炭を造る為竹炭生産者と連携しより良い竹炭原料を造る。</p>
地産地消	<p>【主な取組】</p> <p>鳥取県産竹炭を食品用に加工し全国で使用されている。用途は色付及び菓子や健康食品で使用 竹炭の効力を関西大学と共同研究し内蔵脂肪の低下効力を確認。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>・安定的な有効データを纏め商品販売に繋げ安定的な需要商品として、鳥取県産竹炭を増やし若者の安定収入を生み定着業種確立に繋げる。達成時期:令和7年 ・現在売れ筋健康食品として生産している原料の鮭氷頭を境港サーモンの氷頭も安定使用が出来る様にする。</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>更なる有効性データ取りを大学との共同研究を実施する。現在北海道及びカナダ等輸入品を支給してもらっているが、諸情勢により量の確保が難しくなりつつありサーモンの仲間の境港サーモン(銀鮭)の氷頭を効率よく取出す装置を研究開発する。</p>
地域社会への 貢献	<p>【主な取組】</p> <p>・商工会議所・商工会等の地域経済団体へ入会。地域活性化活動に参加 ・地域のビジネスマッチング商談会参加 ・出張時は公共交通機関の利用を促す出張旅費規定を策定。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に際し、鳥取県、米子市、米子市内介護施設にマスク・除菌ジェルを寄贈 ・地域の運動会、カラオケ大会、正月行事を支援</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>・災害時に状況に応じた支援を企業及び地域と一緒に実施。(金銭・現物寄付・施設開放・炊き出し・募金活動・社員の参加・派遣)令和5年 ・工場を開放し地域の子供達のモノづくり体験会実施でモノづくりに興味をもってもらう活動。令和6年～毎年</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>・町内会・自治会に事業取組みの企業取組み説明をさせていただき、賛同を得る ・取引先企業に弊社の取組みを説明しSDGs取組みに参加してもらえる様活動する。 ・日本トリアスロン大会発祥の地、鳥取県皆生で若手育成活動を支援、スポンサー企業の継続。</p>
プラスワン 【感謝を伝える。社会貢献意識向上】	<p>【主な取組】</p> <p>創業当初から社員に対しありがとう・感謝を伝え、社員一人一人が、会社そして地域社会の一員であるという意識を持ち、地域貢献・働く意欲が向上するよう努めている。 ・創業時から全社員に誕生日のお祝い(商品)を工場責任者より朝礼時に贈呈。 ・毎年夏冬に取引先から商品(食品)を購入し社員に贈呈。取引先を身近に感じてもらい又、取引先があってこそ今の自社があるという感謝の気持ちを持ってもらう。取引先の売上げにも貢献。 ・社員の子供達がスポーツ等の大会等に出場する場合に、応援頑張って下さいと寄付をする。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>・職場定着率 90%達成 達成時期:令和7年 ・有給休暇の取得率 70%達成 達成時期:令和6年</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>「自社で働き続けたい。」と感じてもらえる働きやすい職場づくりに努め、社員の職場定着率を高める取組みとして、社員の家族の支援・応援の為、有給休暇の積極取得を促進する。家族の絆や子どもの成長とそこにある会社の存在意義を共有できる会社にし、社会や経済活動に貢献できる連携組織活動を行なうよう取組む。倫理法人会入会。社員へ月間小冊子「職場の教養」配布等で自他共栄の考え方を浸透させる。</p>

## 経済(1/3) : 株式会社カンダ技工

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
<b>セキュリティ対策</b>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監視カメラ設置</li> <li>・ウイルス対策ソフト利用</li> <li>・パソコンデータ自動バックアップ</li> <li>・採用時誓約書に情報漏洩防止内容記載</li> <li>・ビジネス保険加入</li> <li>・クラウドへのバックアップ</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>令和5年 社内の情報事故ゼロを実現する為、社員のセキュリティ意識を向上させる。</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>社員向け情報セキュリティ研修の企画・実施</p>
<b>法令順守の取組の徹底</b>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法令遵守の為、経営・事業を行う上での疑問点・不明点は専門家(顧問弁護士・顧問社労士・顧問税理士・弁理士)に都度確認。</li> <li>・社内規定やルールはメール全体配信と社内掲示により周知徹底。</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>法令違反件数0件 達成時期:毎年(エンドレス)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス違反の早期発見と未然防止に向けて、内部通報制度を整備し社員に周知。</li> <li>・属人化している業務の見直し 個人の判断で行われている業務を客観的に判断できるよう明文化し共有を図る。</li> <li>・紙で行われているワークフローを電子化して全体の可視化を図る。</li> </ul>
<b>情報公開</b>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページに事業活動内容を公開しタイムリーに更新。</li> <li>・新聞広告に事業活動内容を公開。</li> <li>・大学や高専が学生向けに発行している企業ガイドブックに事業活動内容を公開。</li> <li>・展示会にパネル出展し事業を公開。</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>令和5年 新人事制度の導入と公開</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新人事制度の構築 人事評価制度(等級定義・昇格・昇給ルール等)を策定し、社員周知を図り実施。 求人応募者への公開。</li> </ul>
<b>後継者の確保</b>	<p>【主な取組】</p> <p>令和3年6月に役員変更で社長交代。 会社のビジョンに基づく戦略戦術を定めその実現に向けた今後の活動を明らかにするため、経営理念の策定と知的資産経営報告書の作成に向け取り組み中。コンサルタント支援を受け、次世代リーダーを中心メンバーとしたプロジェクトを組み検討会議を実施している。</p> <p>合わせて、数名増員を図ったSDGs推進プロジェクトを発足。将来の幹部候補人材を育成中。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>令和4年10月～6年10月 知的資産経営報告書完成、全社員に配布とリーダーを中心に、行動指針共有取組みや強い組織にする為の共通の目的・目標、貢献意欲、コミュニケーション等を理解し、目に見えにくい経営資源を強化し強みとして差別化に繋げる SDGsプロジェクトメンバーを中心に共通目的目標を全社共有し取組む。</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、月1～2回、左記のプロジェクト会議を実施し知的資産経営報告書を完成させる。</li> <li>・SDGsの勉強会をグループで行い、取組みテーマを決め行動、経過発表を実施</li> </ul>

## 経済(2/3) : 株式会社カンダ技工

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
<p><b>コロナなどの市場変化を見据えた対応</b></p>	<p>【主な取組】                      自社企業の特質と見えない知的資産を掘り起し市場を見据えた分野へ応用転換が可能か又自社に関連し活かせる分野を絶えず模索している。今後ガス工事関係の自由化になる地域を見据え機械事業部のグループへ統合し、工場の設備機器配管と機械修理人材も育て作業分野を広げ事業持続を高める。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】  <b>完全子会社の土産物ゼリー工場</b> :M&amp;A やグループ企業化を視野に、土産物と和洋菓子製造と、未利用資源事業部の取引先や商社の協力を得て、販売力を強化し人材の安定雇用と自社製造原料を活かしたSDGs 菓子を4種/年の商品を生む。                      時期:M&amp;A・グループ企業等:令和4年度～令和8年度中に17種の商品を生み出す。                      ・<b>機械事業部</b>:創業時からの想いである町医者的存在の企業でありたいを継続しお客様に寄り添ったモノ創りを続け貢献する為にメンテ会社を設立する。令和7年                      ・<b>未利用資源開発事業部</b>:大手メーカーの査察も増え、境港市の2工場を竹内団地の1ヶ所に集約し、エネルギーロスを押さえ合理化推進と開発から最終製品加工可能な工場とし、未利用資源開発の集積地にする。                      ・<b>化粧品事業部</b>:小ロット生産から可能で市場変化にマッチした商品(例えば、コロナ禍のマスク着用時に目もとクリームやまつ毛パーマ液等)近年男性化粧品も増え環境にマッチし未利用資源を活かした商品を開発する。                      令和9年                      【目標達成に向けた取組】  <b>土産物ゼリー工場</b>:各種情報機関や企業に情報提供を求めると共に近隣の菓子屋さんとのマッチングやM&amp;Aを模索し共栄を図る。  <b>機械事業部</b>町医者的存在であり続ける為の基本行動を続ける。(決して断らず、相手の立場に立って理解出来るまで話を聴き共有し出来る事から解決しお互いに成長して行く)、取引先等定年退職者で運営し、元勤務先のメンテをして頂く様な体制を取る。  <b>未利用資源開発事業部</b>:研究開発人員を増員し、商社及び企業からの研究開発(有料)件数を増やし各データの蓄積と特許を取り新素材の活用を推進し合理的製造ラインを模索検討、集約体制を整える。  <b>化粧品事業部</b>:開発に複数副業人材等の活用で経験・トレンドを活かし未利用商品利用開発を推進する。</p>
<p><b>自社以外の経営資源活用</b></p>	<p>【主な取組】                      ・グループ会社より人材の応援活用                      ・弊社工場が鳥取・島根にあり、自社内各拠点での応援体制に加え、協力会社からの人材応援を受入れている。                      ・コンサルタントに依る研修                      ・外部企業よりの出向受入れ</p>	<p>【今後の目標・達成時期】                      ・休眠特許等の技術応用による製造装置・製品素材・システムの開発。令和4年～調査                      ・副業・兼業人材の活用:化粧品工場・菓子製造工場。令和5年～7年にかけて                      ・大手メーカーからの品管指導を受ける。                      令和4年～毎年                      【目標達成に向けた取組】                      ・メーカーの査察が多く有り、都度確認し対処するが、会社に依り考え方が違うので、各社毎の取組み記録残しの徹底と都度社内勉強会の実施で各社の実施ポイントを共有。                      ・開放特許等の情報を、メーカー・関連商社・県機関等から得て、自社に関連性がある開放特許を検証、応用検討。                      ・副業・兼業人材の活用で、必要人材能力内容を詳細に工場で纏めあげる。</p>

## 経済(3/3) : 株式会社カンダ技工

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
<b>デジタル化による生産性向上</b>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインストレージサービスを利用し情報共有。</li> <li>・FAX使用を減少させデータでのやり取りを推進。</li> <li>・ペーパーレス化に繋げ、記録を残すことでミスを減らす。</li> <li>・勤務管理は紙のタイムカードを廃止し、IC カード打刻システム導入。</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>間接業務での時間外勤務をゼロにする。 令和5年</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループウェア導入で情報共有・効率化。</li> <li>業務データや作業日報を電子データベースに置き換え、書類作成の手間や時間・印刷代・書類保管スペースを削減</li> </ul>
<b>雇用の維持・拡大</b>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定年を60歳から70歳へ引上げ、高年齢者の雇いを維持継続</li> <li>・採用後にミスマッチが起きないよう、面接時に適正診断・簡易的な実技テストを実施</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>令和5年 60歳以上の高齢者雇用10%以上 令和5年 新事業展開により新規雇いを創出</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の働きやすい環境整備</li> <li>・高齢者の働きやすい柔軟な勤務体制づくり</li> <li>・新事業展開に伴い研究開発・電気制御・品管部門の専門職人材を採用</li> </ul>
<b>人材育成・能力開発</b>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FSSC・有機加工等の認証を受け定期的なコンサルによる講習受講及び、鳥取県・産業技術センター・商工会議所・金融機関等が主催のセミナー参加</li> <li>・業界メーカーが主催する技術講習会参加</li> <li>・各メーカーへの商品説明会及装置運転指導を学ぶ。</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>金融機関及び情報会社等とコンサルティング契約を締結し、人事評価制度の整備や自社のなりたい姿をもって、共通の目的・目標からコミュニケーションや貢献意欲を引出し事業継続に繋げる。 令和5年</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>知的資産経営を学び会社の方向を理解し皆で取組む (現在17回コースの12回済み)</p>
<b>プラスワン【地元企業の事業継承に貢献】</b>	<p>【主な取組】</p> <p>弊社を核として生まれた素材や技術応用で関連した企業のM&amp;Aやグループ化に出来る企業を探している。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>製菓会社(小さな企業)を探し、弊社グループ会社の商品を増やし和洋菓子をまた健康菓子の製造販売を見据えている。 令和5年4月</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>地域の和菓子屋さんには、高齢化と販売不振が続いており、弊社菓子工場と連携し和洋菓子の製造販売も行う。製菓工場も鳥取県に2社位になり、業界復活に貢献する。</p>



## 環境(1/3) : 株式会社カンダ技工

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
<b>気候変動リスク／環境負荷リスク・機会の分析・対策</b>		
<b>自然環境の変化が経営にもたらす影響</b>	<p>【リスク・機会の分析】 気候変動による温暖化・局所豪雨・海水温上昇や海洋汚染で海洋食料品原料の確保また弊社使用のウロコや魚残渣の量確保が難しくなる。 サケ漁が不漁で原料確保が難しくなっている。</p> <p>【分析に基づく主な取組】 天然魚原料は抑え養殖魚ウロコを増やす魚残渣(サケ氷頭)は不漁等の影響が出ており商社が多方面に入手活動を行っているが代替え抽出品の開発。 今後、魚種に依っては安定した養殖魚が増える想定で原料確保に努める。 現在 3～4ヶ月分の在庫計算で原料調達。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 年間契約締結や複数商社の情報収集で数量確保や新魚種の情報と使用試作で商品提案を実行 令和 5 年 1 月</p> <p>【目標達成に向けた取組】 現在タイ及びインドネシアからの輸入だが他国からの供給も考慮また品質が安定の養殖魚業界への支援を含めた取り組みを進める。 ・以前ミャンマーに支援し直接輸入していたが、政変に依り断念。</p>
<b>社会・制度の変化が経営にもたらす影響</b>	<p>【リスク・機会の分析】 高齢化社会の中、「健康でありたい・長生きしたい」の欲求は強くなり健康食品関連事業が増えてきて、その有効成分も多種となりまた、抽出原料も多様化し廃棄物残渣も数多く利用されてきて、その製造により排出される温室効果ガス量は弊社の一般加工品より多く、改善の必要あり。</p> <p>【分析に基づく主な取組】 蒸気ドレン及び排出ガス温度の冷却熱利用及び熱交換器洗浄・有効断熱材使用で効率アップを図る</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 ・食品加工会社等と連携し食品加工残渣の繋がる還元健康食品を開発し、残渣廃棄量を低減すると共に熱回収を進める。 令和 5 年</p> <p>【目標達成に向けた取組】 企業の残渣調査及び排出企業の取組みへの理解度・意欲調査をすすめる。 ・蒸気ドレンの有効利用・排出ガスの熱交換での温水活用と配管等の断熱効果を確認し改善する。</p>
<b>自社の事業活動が引き起こす影響</b>	<p>【リスク・機会の分析】 残渣や廃棄物を利用して有効成分を抽出し素材原料を製造する事は、資源の有効活用で評価出来るが、製造に際し CO2 の排出は避けられない。クレジットの購入やソーラーパネル設置等の対策を図る。</p> <p>【分析に基づく主な取組】 ソーラーパネルの設置(354 枚) Jクレジットの購入(令和 2 年 3 年各 50 トン購入) 令和 4 年 7 月頃 50 トン購入予定。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 ・ソーラーパネルの増設(自家消費型) 令和 5 年度中 ・Jクレジットの購入(定期購入) 毎年購入</p> <p>【目標達成に向けた取組】 ・蒸気エネルギーの有効利用と熱回収 ・雨水の有効活用 ・温度差小型発電の取組み</p>

## 環境(1/3) : 株式会社カンダ技工

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
<b>カーボンニュートラル</b>		
<p><b>&lt;省エネ&gt; 燃料消費量の削減</b></p>	<p>&lt;KPI&gt; CO2 排出量 77.22t-CO2/百万円 (令和3年時点)</p> <p>【主な取組】 Jクレジット50ト購入 (令和2年・令和3年各50ト)</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 &lt;KPI&gt; ※機械装置及び生産量が増え排出量増 CO2 排出量 令和4年度:69.3t-CO2/百万円 令和5年度:66t-CO2/百万円 令和6年度:64t-CO2/百万円 2030年売上15億円:60t-CO2/百万円</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の燃料消費量と生産量の記録徹底し解析と傾向発表会で問題点解決を検討する。</li> <li>・重油ボイラをガスボイラに替える。</li> <li>・蒸気ドレン回収に依るボイラ燃料削減</li> <li>一過式加熱を循環式加熱方式に替え蒸気使用量の削減を図り燃料削減に努める</li> <li>・ガソリン車をハイブリッド車に順次替える</li> <li>・Jクレジットの購入</li> </ul>
<p><b>&lt;省エネ&gt; 電力消費量の削減</b></p>	<p>&lt;KPI&gt; CO2 排出量 72.86 t-CO2/百万円 (令和3年時点)</p> <p>【主な取組】 太陽光発電設備(354枚) 工場の電灯をLEDに替えた</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 &lt;KPI&gt; ※10年後の売り上げ目標が設定しており、生産に伴う設備機器増に依る排出量増 令和4年度:74.7t-CO2/百万円 令和5年度:69.4t-CO2/百万円 令和6年度:65.2t-CO2/百万円 2030年売上15億円:56t-CO2/百万円</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性向上について製造会議で出た案件を1つずつ実施してみる</li> <li>・改善提案の継続実施</li> <li>・熱回収に依る暖房電力を低減する。</li> <li>・令和4年:機械部工場の水銀灯をLED照明に替える。</li> <li>・令和8年:自家消費型ソーラーパネルの設置</li> <li>・働き方改革をより一層進め、生産効率を上げ、一斉点灯・一斉消灯の推進。</li> <li>・熱温度差発電再取り込み推進</li> <li>・工場のアコンを省エネタイプに替える。</li> <li>・雨水利用による工場屋根散水で発熱を抑えるシステム構築</li> </ul>
<p><b>&lt;創エネ&gt; 再生可能エネルギーの導入</b></p>	<p>&lt;KPI&gt; 再エネ発電量 →11.9%導入(令和3年度)</p> <p>【主な取組】 ソーラー発電設備導入(354枚)</p>	<p>【今後の目標・達成時期】 &lt;KPI&gt; 再エネ発電量 →弊社のエネルギー使用は増えるが再生可能エネルギーの導入使用率を20%にする。 達成時期:令和8年</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自家消費型ソーラーパネルの設置</li> <li>・少量ではあるが、蒸気ドレンと冷却水を利用し今迄取り組んで試作した温度差発電を稼働できるように取り組む。</li> </ul>

## 環境(2/2) : 株式会社カンダ技工

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
<b>廃棄物の削減</b>	<p>&lt;KPI&gt; 総廃棄物発生量:66.9 t/年 (令和3年時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーレス化の推進</li> <li>・ラードの再生利用開発</li> <li>・コーゲン抽出残渣の排熱利用乾燥設備の開発</li> <li>・スクラップ再利用活用</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>&lt;KPI&gt; 総廃棄物発生量 66t/年(令和4年) 65t/年(令和5年) 63t/年(令和6年) 55t/年(令和12年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・客先の入替え設備品は機器類と鋼材に分け使用可能な物は再利用</li> <li>・ウロココーゲン抽出残渣再利用製品開発</li> <li>・海藻類原料抽出残渣の有効活用研究開発を進める</li> <li>・化粧品工場の廃棄物減量化(業者のアドバイスも取入れ共同で減量化を推進)</li> <li>・メーカー品パンフレット・カタログ等は電子カタログを利用、返却可能なカタログの要請</li> </ul>
<b>水資源の適正な管理</b>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・境港工場は、特定施設の届出を県と市下水道に提出し2回/月の排水分析を実施。</li> <li>・本社工場は町内と、生活排水と一部洗い水の排水を側溝に流せる協定をして遵守</li> <li>・八雲工場は浄化槽処理</li> <li>・熊野工場は下水道放流</li> <li>・自社使用の稼働率の高い機械は装置毎に流量計設置</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・濃縮作業の蒸発蒸気を熱交換し再利用化を目指す。 令和6年</li> <li>・異常気象で豪雨や大雨の確率も高く、雨水の活用で(循環冷却水利用への活用を目指す。 令和7年</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弊社にて蒸留装置を製作し純水の回収を行う</li> <li>・雨水回収システムを開発する。(熱交換水への利用・温度差発電への利用・屋根散水用水への利用・トイレ用水・工場床洗浄水)</li> </ul>
<b>環境配慮型商品・サービスの提供</b>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーゲン抽出後の有機物残渣(タンパク質)をパウダー化しプロテイン商品(ゼリー・和洋菓子・餌)を試作開発中</li> <li>・鮭の廃棄頭の利用商品:プロテオグリカン</li> <li>・卵殻膜利用商品:ESM プロテイン</li> <li>・鳥取県産竹炭利用商品:食品色付パウダー 竹炭健康食品(珈琲等)</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>農・水・林製品の全ての素材の100%活用を目指し、産学官の連携また地域・異業種との連携も取組廃棄物ゼロを目指す。 令和12年</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>各種残渣の商品化依頼が他県からもあり、検討開発に努めています。 少数員での対応がネック</p>
<b>環境面での社会貢献</b>	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の清掃活動</li> <li>・大山一斉清掃参加 2回/年</li> <li>・「MORINO PROJECT」支援で苗木の植樹</li> <li>・野鳥の生態系と野生花や樹木学習</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会社として社員が複数班に分かれ地域の清掃活動への参加 令和5年</li> <li>・野鳥の巣箱作りへの貢献 令和5年</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>野鳥の写真展等に出かけ野鳥の美しさと自然の大切さ等を学習</p>
<b>プラスワン【未利用資源の活用】</b>	<p>【主な取組】</p> <p>スクラップ(鉄・ステンレス・真鍮・アルミ・銅・樹脂等)及び部材(ハルブ類・機器類等)の分別で再利用可能な物を再生</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクラップ(鋼材)の再利用を客先へ説明了解を得て製作しスクラップの減量化を推進する。</li> <li>・加工不良品もスクラップになる為不良を0にする。</li> <li>・端材を利用した小物品開発</li> </ul> <p>令和4年実行,令和3年の12%から令和7年仕入量の5%にする。</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>撤去品は必ず機器類を外し利用の良否を確認 客先への再利用の説明確認を徹底し了解を得る取組推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工不良0運動推進、朝礼時の製作品確認及び熟練者のアドバイスと加工時チェックの徹底と管理表作成と原因対策に取組み意識高揚を目指す。</li> <li>・端材は厚み・種類毎に分け、座金・ライナー・カバー等、他身近で利用できる商品の開発を行う。</li> </ul>